

質問コーナー

子どもに使わせるナイフは  
何がよいでしょうか

『小学校二年生を受けもつようになって子どもたちを見ると、本当に自分の手で何かをやるということが少ないと思いました。以前から鉛筆をナイフで削る、ということを知っていたので、毎日使う鉛筆を自分で削れば手を使うことになると考え、とり組みたいと思ったのですが、どんなナイフを子どもたちに持たせたら良いかということもわかりません。教えて下さい。』

答 森下一期（職業訓練大学校）

低学年の子どもたちにナイフを与えるとき  
まず考えておきたいことは

- 多くの子どもにとって、初めて刃物を手にする場となる
- そのため、恐れをいだいて刃物を見ることでしょう。従って、最初に使う刃物として適切と考えられるのは次のようなものです。

- ① 刃渡りがそれ程長くないもの
- ② 先が鋭くとがっていないもの
- ③ 少しぐらいの力では折れないもの
- ④ 刃の出し入れが危険でないもの
- ⑤ 子どもの手に合うもの
- ⑥ よく切れるもの

理由は大体見当がつくと思います。①②は大きな恐怖心を与えないため、でも一定の緊張感を引き出すことは必要ですね。③④は安全性です。⑤は掌全体でしっかり握り込めるだけの大きさ、しかし、大きすぎないことも大切です。力が正しく入りません。⑥は一見危険な感じがしますが、実は逆です。力を加えたとき、思うように切れないと無理な力を

出すこととなります。そのため力があまってすべって手を切ったりするのです。

これだけの条件を全てそなえたナイフは残念ながらありません。従って若干不十分さを容認するか、手を加えるかしなければなりません。

代表的なナイフとしては下図のようなものがあります。(図1)

- ①は折れる危険性がある。
- ②は持つところが小さくて安定しない。
- ③は刃渡りが長く最初としては使いづらい。折れ曲るのもスムーズでないものが多いためケガのもと—慣れるとよいナイフ。
- ④先端がとがっている。

といったところが気になります。私はこの中でもより良いものは、④と考え、皆さんに勧めてきています。できたら先端をグラインダーで削り、ケースをつくと良いでしょう。木の柄のついているものは、太すぎるため適切ではありません。図のものにテープなどを巻くと良いでしょう。使い方などは別の機会に。

図1

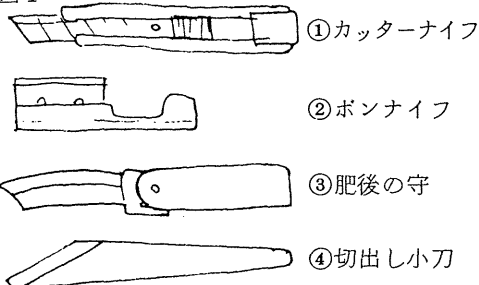


図2

